ボランティア募集 & イベント情報

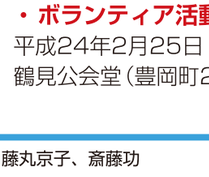
問合せ先のないものは、
すべて鶴見区ボランティアセンター
（区社協内 TEL 504-5625）へ

説明会 平成24年度 横浜市鶴見区社会福祉協議会「鶴見ふれあい善意銀行」助成金 説明会

鶴見ふれあい善意銀行は、鶴見区内の非営利なボランティア・当事者活動を応援する助成金制度です。

【内容】助成金制度の概要・申請書類の書き方など。
【日時】第1回　3月15日（木）16:00～17:30
　　第2回　3月16日（金）10:00～11:30（2回とも同じ内容）
【会場】鶴見区福祉保健活動拠点 6階 多目的研修室AB
【申込】申込不要。直接会場へお越しください。ただし手話通訳希望者のみ2月24日(金)までに出席する日時・人数をFAXにてお知らせください。

募集 フレンドの会「手話入門講座」参加者募集



【日時】3/8～4/26（木）全8回
10:30～12:00（初回10:00受付）
【会場】鶴見中央地域ケアプラザ
【参加費】1,000円（テキスト代200円別）
【定員】10名（先着順）
【申込方法・申込先】
鈴木（090-7417-9631）、柳谷（FAX:045-583-0198）
FAXの場合①名前、②連絡先、③住所を明記

これからも長い支援を

◆東日本大震災義援金◆

12,819,700円

（平成23年12月31日現在）

3月11日から今日までの間、日赤鶴見区地区委員会では多くの皆様からのあたたかいご支援をお預かりしてまいりました。この尊い義援金は全額、日本赤十字社に送られており、そこを通じて被災地の方々に届けられます。多くのご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。今後も長い支援が必要となりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

国際理解講座 知ることから始めよう！ ～タイ・バングラデシュ・インドでは今…～

タイ・バングラデシュ・インドの日本企業等で長年日本語教師として教鞭を取られた講師・紺野氏の視点から、それぞれのお国事情と観光の見どころを紹介します。

【日時】3月4日（日）　13:30 ～ 15:30
【会場】鶴見区福祉保健活動拠点　6階　研修室-A
【講師】紺野 康文氏（元ズーラシア動物課長兼次長）
【参加費】無料
【定員】50名（申込順）
【申込方法・申込先】ハガキかFAXで、名前（ふりがな）・住所・TELを明記の上、〒230-0051鶴見中央 4-32-1 UNEXビル5F
鶴見区福祉保健活動拠点内
NPO法人 こんにちは・国際交流の会宛　FAX 504-5616
【問合せ】TEL 045-586-2552（中村）

鶴見区社協より http://www.yturumi-shakyo.jp/

「鶴見の空クイズ」＆愛読者アンケート

QUOカードを10名様にプレゼント！

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答　②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、3月31日（必着）までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は「②響橋」、応募者数105人でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。

◆前号の表紙写真について、道路からの撮影は危ないとのご意見を頂きました。今後は撮影方法にも十分配慮しつつ、よりよい情報紙作りに向け取り組んでいきます。

〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
（TEL 504-5619　FAX 504-5616　Eメール：info@yturumi-shakyo.jp）

第8回「鶴見・あいねっと」推進フォーラム 開催

「鶴見のちから」～知り合おう つながろう ふみだそう～

みなさんのご来場をお待ちしております。

鶴見・あいねっと

《内容》・社会福祉功労者感謝会・和太鼓演奏
・鶴っこ製品展示（障害児者施設等の手作り製品）
・ボランティア活動紹介
《日時》平成24年2月25日（土）13:30～16:00（13:00開場）
《会場》鶴見公会堂（豊岡町2-1 フーガⅠ 6階）

申込不要◆直接会場へお越しください

編集委員／河西英彦、勝又明子、小林桂子、藤丸京子、斎藤功

鶴見区社協の情報紙

福祉つるみ 69

点字・録音版も！

【第69号】2012年2月1日発行／編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

あしたもまた ケアプラへ

［特 集］
鶴見区内の地域ケアプラザ
第2回目

表紙クイズ **ここは鶴見のどこの空？** 応募方法は4ページをご覧ください
この号の中にヒントがあります。
❶鶴見市場地域ケアプラザ　❷生麦地域ケアプラザ　❸東寺尾地域ケアプラザ

撮影者：白鳥 威　2012年1月13日撮影）

あしたもまた ケアプラで

地域ケアプラザの略称

［第2回］

子育て世代、小中高校生・大学生、高齢者にボランティア…さまざまな人たちが利用し、福祉保健のサービス・相談が受けられる“ケアプラ”は現在、鶴見区内に8か所。「福祉つるみ」68号に続いて、今回も4つのケアプラを紹介します。

Q “ケアプラ”に相談したいけれどどうしたらいいの？

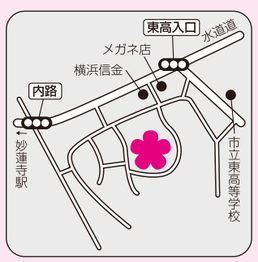
A 最寄りの“ケアプラ”が相談窓口です。まずは鶴見区福祉保健課（TEL：510-1826）へご相談ください。

東寺尾 ［愛称］せせらぎプラザ

横浜市内のマスコットキャラクターが大集合した、開館10周年記念フリーマーケット（10月30日）。

見晴らしのいい丘の上にあるため、坂道を上るのは健康づくり、という元気な利用者がたくさんいます。開館から10年。その当時から活躍するボランティアと、発想豊かな若い利用者の交流が年々広がり、活気を生んでいます。ピンクのデイサービス送迎車を見かけると手を振る人も増えました。職員の「心をこめた挨拶・スタッフ同士仲良く・ほっと一休みできる雰囲気づくり」の姿勢は、中に入ると伝わってきます。

▶地域支えあい連絡会・笑福東（しょうふくとう）により始められた「笑福東祭」（昨年10月16日）。ケアプラ全職員参加の大合唱で盛り上げました



東寺尾1-12-3
TEL：584-0129　FAX：570-6202
URL：www.higashiterao-c-waka.jp/

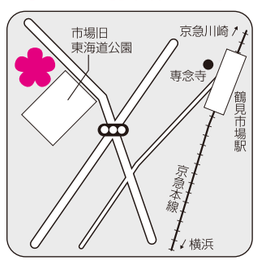
鶴見市場 ゆうづる

コミュニティハウスを併設

赤ちゃんの泣き声や優しげな高齢者の笑い声が聞こえてくるにぎやかなロビー。自然に会話が生まれる情景は、コミュニティハウス併設のゆうづるならではです。毎日利用できる「ゆうづルーム」や、「キッズイベント（毎週火曜）」「親子クッキング（第1日曜）」は、親子のほっとできる居場所として人気です。夏には、地域の方と協力して「ゆうづる夏祭り」を開催。誰もが参加できる地域の祭りとして定着しています。

◀パパも参加できるよう日曜日に開く「親子クッキングスペシャルサンデー」（昨年12月4日）。真剣な表情でおかしの家をつくりました

▶市場地区社協のボランティアが手伝う火曜日の「キッズルームゆうづる」（昨年11月22日）。保育士による指遊びを楽しんだ後、ボランティアがお子さんの身長・体重を測りました



市場下町11-5
TEL：504-1188
FAX：500-6677
URL：www2.taiju.or.jp/yuduru/index.html

◆1月4日開所

生麦 麦の風

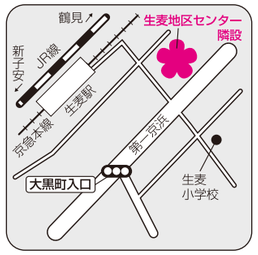
地区センター隣設

▼京急生麦駅から、線路沿いに歩いて5分。白い外壁が目印です

昨年12月に行われた開所式で、愛称“麦の風”が発表されました。「誰でも気軽に立ち寄れるように、いつも笑顔があるケアプラにしていきたい」と島田施設長。地域の一員として顔の見える関係を築き、地域の福祉ネットワークづくりに役立ちたいと続けます。

誰でも利用できるサロンとして開放している1階の多目的ホール

YMCAネットワークとして取り組んでいる子育て支援、健康体操をテーマにした独自事業を考えて“麦の風”ならではのサービスを計画していきます。
※デイサービスはありません。



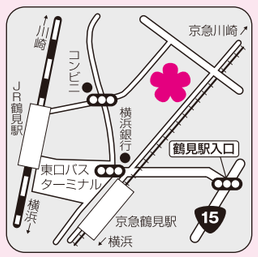
生麦4-6-4
TEL：510-3411　FAX：510-3018

鶴見中央

区内のケアプラで唯一、福祉機器・器具が展示されています。※購入はできません

エレベーターを降りると子どもたちの声が聞こえます。フロアにはいろいろな福祉機器・器具が展示されています。生け花・俳句は、気軽に立ち寄る近所の人たちの作品。「利用者と一緒に考え、つくっていく、みんなの居場所」になることをめざしています。地域の作業所ネットワークの人たちが館内の清掃に一役買い、出入りする多くのボランティアが自主事業を手伝う…日頃の活動からも一体感が伝わってきます。

◀キッズクッキングクラブ（小学1～6年対象）が中心になった12月の会食会。カレー、サラダ、デザートを2時間かけて用意し、利用者を迎えました



鶴見中央1-23-26
TEL：521-8100　FAX：508-7808
URL：http://www.yokohamaymca.org/

ケアプラ4つの機能

地域活動・交流事業

福祉保健に関する講座（子育て、障がい、高齢、ボランティアなど）の開催、福祉保健活動の会場の貸出し、福祉保健情報の収集・提供を行います。また、地域の課題に対して担当地区の方々と協働し、関係機関との連携で解決をめざす「地域福祉保健計画（地域福祉活動計画）」の策定／推進に向けた取り組みを行います。

地域包括支援センター

専門職員を配置し、医師、行政ケースワーカー・保健師等と連携して福祉保健に関する相談（高齢者介護・介護保険・虐待や権利擁護など）を受けます。また、介護保険の要介護認定申請の代行、ケアプラン作成も行います。

居宅介護支援・介護予防支援

介護保険認定調査で「要支援」「要介護」の認定を受けた方に対し、ケアマネジャー（介護支援専門員）がケアプラン（居宅サービス計画書）を作成。利用者本人が住み慣れた地域で在宅生活を続けられるよう、介護保険サービスの調整と家族支援を行います。

デイサービス（通所介護・介護予防通所介護）

要支援、要介護の認定を受けた在宅高齢者に、ケアプランにそって送迎、健康チェック、入浴、食事、レクリエーション等のサービスを提供し、本人・家族の日常生活を支援します。要支援者には機能の維持・改善に向けたプログラムを実施し、自立した生活を支援します。

- 「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。
- 「福祉つるみ」では広告を募集しております。
- 一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。
- 次号（第70号）は、平成24年10月1日発行です。

善意銀行寄付者

善意の寄付をありがとうございました
平成23年9月1日～12月31日（　）内は期間内の寄付回数

金銭寄付者（敬称略・順不同）（株）ニュー・トーヨー（4）●（社）神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部●ハーモニー音楽教室生徒一同・愛する会一同●安部ヒロエ●横浜市潮田地区センターチャリティーダンスパーティー実行委員会●岩澤ヲ鶴子（4）●股野藍子●市場地区自治連合会　市場地区社会福祉協議会　市場第二自治連合会 市場第二地区社会福祉協議会●手話サークルあいうえお●酒井忠政●小野梅子（2）●上末吉婦人会●新鶴見文化祭実行委員会●中村国政●東台小学校三世代ふれあい光の子フェスティバル実行委員会●社団法人　鶴見法人会（1）●佐々木悦子●佐々木　淳●渡辺　武●蛭田登亀子●片田由美子●平井洵子（4）●旭硝子労働組合●旭硝子労働組合京浜支部●北原早苗●大本山・總持寺・三松会●日本ボーイスカウト鶴見区連絡会●東寺尾商品開発部●神奈川県厚生年金受給者協会鶴見分会　鶴見区仏教婦人会●内田八江子●小野輝子●樋高禮子●匿名（1）　**物品寄付者**（敬称略）吉兆グループ●小野梅子

寄付の方法

①区社協窓口への持参
（月～土 9時～17時）
②銀行振込
★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫　鶴見駅東口出張所
普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行　阿部 進（アベススム）